

尿中ウラシル高感度測定法

主たる提供特許	出願者	国立大学法人長崎大学
	題名	ウラシル特異的な蛍光検出反応及びジヒドロピリミジンデヒドロゲナーゼ欠損症の検査法
	番号	W02011/108544

ウラシル異化代謝酵素欠損者の安価・簡便な検出方法

技術概要

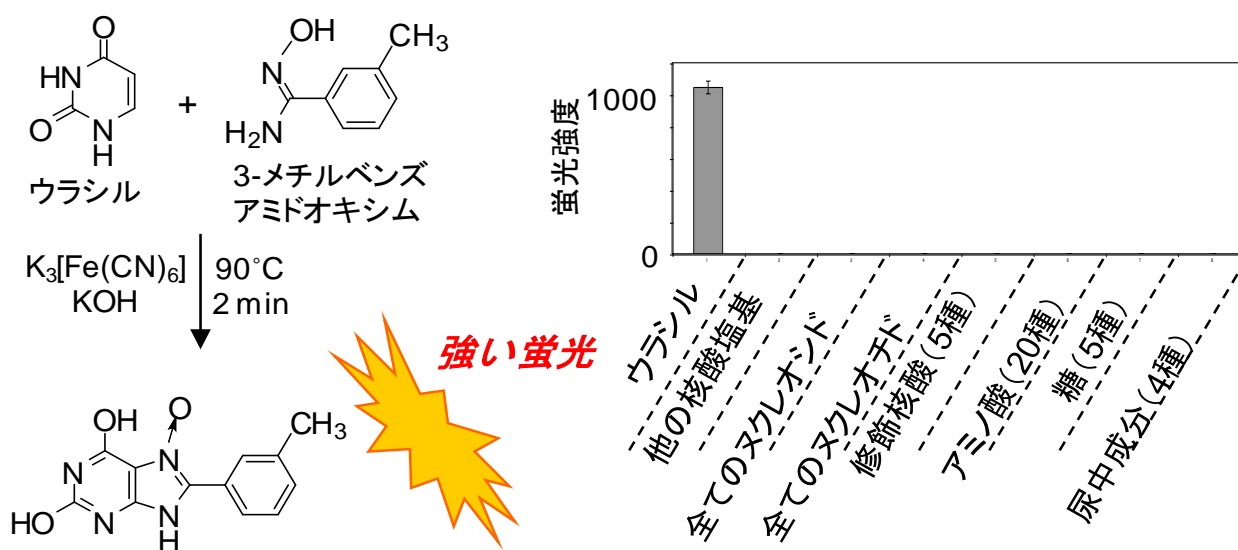
発明の背景

・ウラシルの異化代謝酵素(DPD)の欠損者の比率は人種によって異なるが、アフリカ系女性においては10%を超えるという報告があります。また、5-FU投与の対象患者は、乳癌・消化器癌・大腸癌等であり、国内だけで年間10万人を超える患者がいます。

・DPDの欠損者に、抗がん剤5-FUを与えると重篤な副作用が発生し、時に患者は死亡することがありますが、現在の技術では、DPDの欠損者の診断には時間と費用がかかり、事前検査はなされていません。

発明概要

尿中ウラシルを特異的・迅速に測定できます。



効果

安価で簡便であり、全例の事前検査に適しています。

応用分野

実用化例

・診断薬あるいは受託診断サービス

企業へのメッセージ

世界的に開発可能な技術移転先企業を探しています。